

市民の目線で、世の中の“なんかおかしい？”を発信

創刊号 発行／2025年3月10日
編集／ゆうこく連合



●ゆうこく連合では

3つのスローガンを掲げています。「①独立自尊 ②命を守る ③衰退から成長へ消費税廃止」
3つのスローガンのもと、日々の暮らしを大切にしている市民が集まって、ゆうこく連合が誕生しました。「いまの日本はおかしい！」その思いを、それぞれの一票にのせて、票を一同に集めて、一気に政権交代することを目指しています。
あなたのご参加を心よりお待ちしております。



ゆうこく連合
統括本部(X)

今、気になるコト

その①

止まらない
物価高

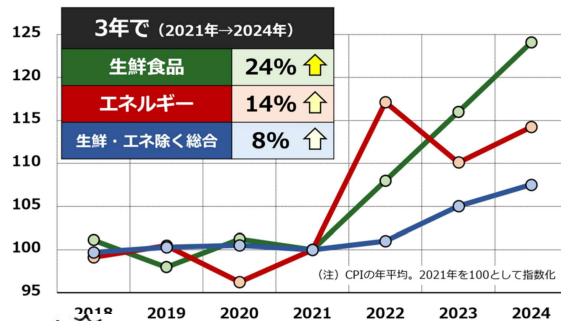
キャベツがひと玉1,000円!?

増税で実質収入が目減りし、家計は深刻な打撃を受けています。40年ぶりにエンゲル係数が28.8%に急上昇し、食費が家計を圧迫。キャベツが1玉1,000円に跳ね上がるなど、食料品や生活必需品の価格高騰が止まらず、節約の余地はゼロ。今後も値上がりが続く、生活は一層厳しくなる見通しです。

国民の悲鳴と政策の不在

日本人の主食である米の価格が1.6倍に跳ね上がり、物価高が国民を直撃。賃上げが追いつかず、エンゲル係数28.8%で高止まりし、家計は悲鳴を上げています。政府の対策は効果を発揮せず、この「人災」は長期化の兆し、生活防衛策が急務となっています。

生鮮食品が高い



CPI(消費者物価指数)の年平均推移

【何が問題なの?】

物価を上げ、賃上げをはばむ「消費税」

過去30年にわたり、財源確保の名のもとに段階的に引き上げられてきた消費税。仮に名目賃金が少し上がっても、消費税込みの物価上昇で実質賃金はマイナスという状況が続いています。ここ数年の超円安による物価上昇に加え、消費税負担が重なることで、国民の実質的なお金の価値が下がる。給料が同じなら、買えるモノの量が減るということ。一方、中小企業は消費税分を価格に転嫁しきれず従業員の賃金を上げる余裕などない。厚労省のデータでも、2023年頃から実質賃金の低下が問題視されています。消費税がなければ、生活水準は今より保てたのではないのでしょうか。

消費税が二重課税されたガソリン代

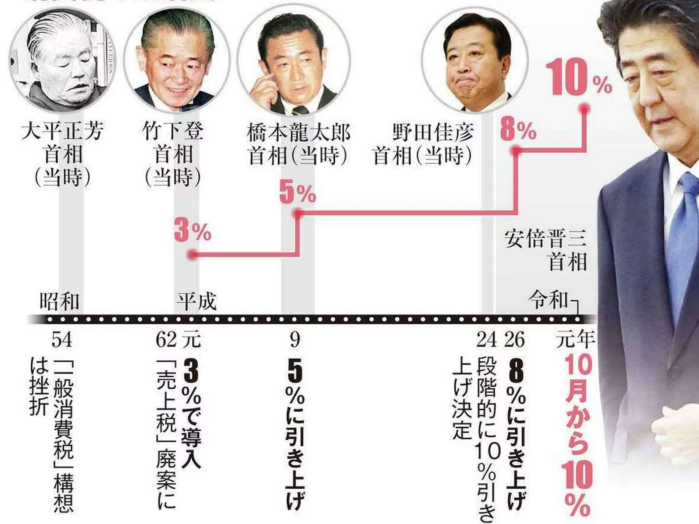
ガソリンの税金は「二重課税」が問題。ガソリン税(53.8円/L)に加え、消費税が上乗せされ、税に税がかかる理不尽さ。地方在住者や運送業は車が必須なのに、高税率で負担増。減税の議論は進まず、政府の財源依存が露骨です。

【私たちはどうすればいいの?】

「消費税No!」の議員を応援しよう

消費税ゼロや減税を公約に掲げる議員を応援し、私たちの生活を守る声を国会に届けましょう。一人でも多くの賛同議員を送り出し、消費税や暫定税率の早期撤廃を実現することが、物価高から国民を救う第一歩ではないのでしょうか。

消費税の政治史



引用:産経ニュース

ガソリンに関する税金

※本体価格100円と仮定
(円/リットル)

ガソリン 本体価格	ガソリン税 (本則)	ガソリン税 (特例)	石油・石炭税 (本則)	石油・石炭税 (特例)	消費税
100円	28.7円	25.1円	2.04円	0.76円	15.6円

172円のうち 税金72円

引用:テレビ東京WBS